

福祉の切り捨てをゆるさず、市民が安心してくらせる川口の実現を

6月市議会定例会が6月2日に開会しました。

今議会の前に開かれた議会運営委員会に、日本共産党市議団は「消費税の引き下げとインボイス制度の中止を求める意見書」案、「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」案、「米の生産基盤の条件整備と米不足に対する緊急対応を求める意見書」案の3本の意見書を提案しました。今号では「消費税の引き下げとインボイス制度の中止を求める意見書」案を紹介します。

「消費税の引き下げとインボイス制度の中止を求める意見書(案)」

1989年に消費税を導入してから1997年に5%、2014年に8%、2019年に10%に引き上げてきた。もともと消費税は所得の低い人ほど所得に対し相対的に負担が重くなる税の逆進性が高いことが問題と指摘されており、10年で2度税率が引き上げられた消費税によって平均500万円～600万円程度の給与所得世帯の中間所得層で最も重い税負担が消費税となっている。

現在、食料品、光熱水費、衣服など、あらゆるものの物価が高騰し、国民の生活に大きく影響を及ぼしている。このような中、消費税の軽減を求める声が大きくなり、さまざまな立場から消費税の減税が物価高騰対策に有効だという認識が広がっている。消費税は原則すべての商品やサービスに課税されているため、一律で軽減することで大きな効果が生まれ、物価を直接的に引き下げることにもつながり物価高騰対策としても期待できる。

また、消費税を減税し、税率を一律にすることで、複数税率に対応するための適格請求も不要となる。個人事業主や小規模事業をはじめ中小企業の倒産も続いている中、事業者に過大な負担となるインボイス制度も中止する必要がある。

よって、国及び政府においては、消費税率を引き下げるとともに適格請求書等保存方式(インボイス制度)を中止するよう求める。

また、今議会では一般会計予算に5億4706万7千円を追加する補正、国民健康保険事業特別会計は1億2961万3千円の追加、介護保険事業特別会計は167万5千円を追加する補正予算案が市長より提出されました。

一般議案では、心身障害者福祉センターわかゆり学園を設置及び管理条例の一部改正、障害者就労継続支援施設設置及び管理条例の廃止、障害者生活介護施設の設置及び管理条例の廃止に関わる議案、乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、工事請負契約の議案では朝日環境センターNo.1ごみクレーンほか復旧工事、中央橋改修工事、仲町小学校の改築、北スポーツセンターと神根西公民館改築、契約変更議案はリア大規模改修、戸塚環境センター施設整備工事が提案され、審議されます。

一般質問では日本共産党から金子ゆきひろ市議、ふじしまともこ市議がみなさんから寄せられた声を届けてがんばります。

金子ゆきひろ議員 6月11日(水)15時～

- ① 地域循環型経済の推進、市内中小企業活用の継続・発展を
- ② いまこそ川口市平和都市宣言に光をあてる市政に
- ③ 学校の暑さ対策について
- ④ 町会・自治会について
- ⑤ 使用料・手数料について
- ⑥ 鳩ヶ谷地域の諸課題について

ふじしまともこ議員 6月16日(月)10時～

- ① サンテピア及びわかゆり学園等の今後について
- ② 障害を持ったお子さんと通学するために
- ③ 障害を持った方と家族が川口市で暮らし続けるために
- ④ 学校給食の無償化について
- ⑤ 命の水について
- ⑥ ごみ収集業務について

※議会は傍聴できます。ぜひ傍聴にお出かけください。また、インターネットでの配信と録画視聴もできますので、川口市議会ホームページよりご覧ください

新川口

2025年6月8日 No.1792

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

埼玉自治体問題研究所第50回定期総会 記念シンポジウムを開催

6月1日にさいたま共済会館において、埼玉自治体問題研究所第50回定期総会が開催され松本さちえ市議が参加しました。

総会に先立ち、記念シンポジウムが行われ「県下自治体の“今”を考える～自治と公共性は機能しているか」をテーマに、研究所理事長の平野方紹 元立教大学教授がコーディネーターとなり県内6自治体の住民・議員から発言がありました。



各自治体からの報告として、さいたま市の鳥羽めぐみ議員から、さいたま市で進む大規模公共工事について発言があり、児童生徒数3000人規模の武蔵浦和学園義務教育学校建設は計画・設計で300億円、建設に220億円計上しても契約不調になっていること、大宮駅グランドセントラルステーション化構想では、いくらかかるかもいつまでかかるかもわからない大事業であることが報告されました。上尾市の学校統廃合と学校給食のセンター化・民営化について市民団体からの発言は、2021年に33校の小中学校を22校に減らす計画が発表され、市民からの反対で計画が見直されたなど運動と取り組みが報告されました。戸田市の花井あき子市議からは「教育総合データベース構築事業」について発言があり、子どもに関するデータベースを活用することについて、個人情報保護はアドバイザーボードが設けられ、安易に活用がされないための規制を進める取り組みも紹介されました。所沢市の花岡健太市議からは、「社会教育施設の市長部局移管と新市政下での課題」として、公民館を廃止し、まちづくりセンターに変更するなどが進められ、社会教育としての在り方が全く反映

されないものになってしまったなどの問題点が報告されました。滑川町の阿部弘明議員からは「これからのごみ処理施設の在り方」について、広域的に整備する方針の中で新たな焼却施設の設置について議論されていて、地域の反対の声が広がっているなどの運動も報告されました。杉戸町の上田議員は「地域公共交通の改善を目指す歩み」について、市民団体としての取り組みや学習会の開催や議会での議論も含め報告されました。

県内各自治体の取り組みは、川口市でも抱える課題と重なるものもあり、他の自治体の課題や取り組み、市民運動での学習もいかし、住民が主役のまちづくりをすすめていく姿を学ぶことができました。

教科書展示会に行き 声を届けましょう

—採択している教科書以外も展示されます—

埼玉県教育委員会では、令和7年度における教科書展示会を、県内27会場で開催します。教科書展示会は、教科書の調査研究を行うために、法に基づき埼玉県教育委員会が開催するものです。

教員だけでなく、保護者の方々をはじめ、市民の皆様も広く参加することができます。展示会は市民が誰でも参加ができ、子どもたちがどんな教科書を使っているのかを知る貴重な機会です。採択している教科書以外も展示されます。

様々な教科書を手にとりご覧いただき、会場で行われているアンケートでみなさんの声を教育委員会に届けましょう。

みなさんのご意見をお聞かせください。

日時／ **6月13日(金)～27日(金)**

平日 10時～19時

土・日曜日 10時～17時(最終日は16時まで)

場所／教育研究所3階 体育館 川口市芝園町3-17

※近隣の旧芝園中学校の駐車場を利用できます。